



	2月1日現在	前月比
男	14,487	+5
女	14,601	+6
計	29,088	+11
世帯数	6,590	+3



町民マラソン大会

第8回町民マラソン大会が、1月24日、総合運動公園グラウンドをスタート、ゴール地点として開かれました。各コースの優勝者は次のとおりです。

- ▶ 2km小学男子 林勝男（瓦会小） ▶ 同小学女子 原田鈴香（林小） ▶ 同中学女子 久保田幸枝（園部中） ▶ 同一般女子 皆川令子（柿岡）
- ▶ 5km中学男子 海老沢和己（南中） ▶ 同壮年男子 伊藤政男（山崎） ▶ 同一般男子 鈴木正男（山崎） ▶ 10km一般男子 小松崎一郎（川又）

主 な 内 容

○町合併30周年記念式典を挙行—— 2～3 P

○農業後継者8名を表彰—— 4～5 P

○みんなの公民館—— 6 P

○「茨城県フラワーパーク」に決定—— 7 P

町合併30周年記念式典を挙

アトラクションに

記念コンサートを開演

町では、合併30周年を記念して、町の木・町の花の制定や記念町勢要覧の発刊など、各種の事業を行っています。その一つとして、一月二十六日、町内外から約六百名を招待し、中央公民館で合併30周年記念式典を行いました。

式典では、「今日の町の隆盛をもたらしたのも、合併以来新町建設に多大の貢献をされた、たくさんの方々の皆様のご尽力によるものであります。今後とも、心身ともに健康で文化的な生活が営まれるやさしき町のつくりのため、関係者一体となり取り組んで参ります」との町長のあいさつがあり、町議会議員あいさつ、合併30周年記念町功労者表彰、来賓祝辞などがありました。

また、先に制定した町の木・町の花の発表も、同席上、併せて行いました。

式典終了後には、アトラクションとして、会場を農業者トレーニングセンターに移し、寺内たけしとブルージーンズ、笹みどりをゲストに迎え、記念コンサートを行いました。

コンサートは、正午からの部と午後三時からの二部に分けて行い、合

合併30周年記念対談

合併30周年記念表彰者

歴代町長 関野信平（小幡）
吉田次郎（柿岡）、岩本佳之（須釜）

永年勤続会議員 原田孟（半

記念コンサート終了後、寺内たけしさん、笹みどりさん、中村町長の三人による、記念対談を行いました。

美しい緑のある町

町長 本日は、八郷町合併三十周年記念コンサートにご出演いただきまして、ありがとうございます。

寺内さんは、国内はもちろん世界各国でご活躍されておりますが、八郷町においでになられたのは初めてかと思えます。八郷町を訪れた率直なご感想はいかがですか。

田）、桜井敏雄（下林）、渡辺啓治（小幡）、島田喜久雄（嘉良寿理）、菊地茂雄（柿岡）、桜井正（上青柳）、足立清（上曾）、中島仁平（小倉）、野内和夫（柿岡）、永井清（東成井）、富田新一（下林）、真家正一（真家）、鈴木栄治（瓦谷）
永年勤続農業委員 足立忠雄（川又）
永年勤続教育委員 真家耕三（部原）
永年勤続区長 大久保良包（柿岡）、足立光（柿岡）、茂垣好夫（柿岡）、

寺内 広いですね。八郷町は、八つの郷が合併して一つの町ができたということですが、それぞれがどのようなコミュニティを持っているか、興味がありますね。

町長 笹さんは、どういうご感想をお持ちになりましたか。笹 私も、広いのでびっくりいたしました。

町長 県内でも、町村の中では二番目に広い面積を持っております。

寺内 私は、企画の方の仕事もしておりますので、ひとつ提案しましょう。



町の発展を祈念して行われた万歳三喝



記念コンサート風景

白田順六郎（加生野）、路川四郎兵衛（猪内）土佐藤吉（吉生）、中田温英（大増）、岩田操（大増）、成瀬繁夫（真家）、鈴木正喜（片岡）、桜井光一（半田）、岡崎喜福（川又）、萩原一郎（弓弦）
歴代消防団長 馬立林蔵（上曾）、鈴木重美（瓦谷）、友部三男（大塚）、原田伝左エ門（半田）、舟橋保（柿岡）
永年勤続民生委員 吉川イン（上林）、小林文雄（下林）、大木フサ（根小屋）
老人会振興功労者 菊地萬之助（柿岡）
永年勤続学校医 富田允寿（小幡）、宮司順（半田）、友部洋（大塚）、滝田欣一（柿岡）、

枝弘三（柿岡）
永年勤続納税組合長 浅野光一（柿岡）、大沢唯夫（柿岡）、有間政輝（柿岡）、綿引仁太郎（片野）、宮城晃一（小幡）、桜井新（小幡）、大橋藤吾（小幡）、中村茂一（小幡）、田上勝雄（小幡）、菊地富次（須釜）、小林幸一郎（須釜）、渡辺春雄（須釜）、梶山信之助（下青柳）、木村隆司（下青柳）、桜井きみ（小幡）、渡辺操（小幡）、青木伸雄（鯨岡）、上野丈一（小屋）、田中明（小屋）、小林忠（上曾）、大沢繁夫（吉生）、荒井勤治（吉生）、田仲貞三郎（吉生）、長谷川貞三（大増）、大岡昇（中戸）、大山保（宇治会）、飯村藤三（山崎）、千葉政雄（真家）、白田正源（下林）、小石川秋之助（嘉良寿理）、島田作一（嘉良寿理）、大木玄祥（根小屋）、高木三千雄（上林）、岩田竹市（半田）
永年勤続町職員 田上満夫（月岡）、小峰久夫（柿岡）、谷島シヅエ（瓦谷）、成田常三郎（上曾）、島田一夫（半田）、稲田和（根小屋）、金子奈都子（柿岡）、鈴木千代子（柿岡）

〔対談者〕



寺内たけしさん



笹みどりさん



中村町長

広い大地と美しい緑を生かしたやすらぎの町づくりを

十分わけてあげたいですね。
都市との交流を考えて

町長 東京から七十キロメートル、常磐自動車道の開通によつて一時間ちよつとで来られるという点を生かして、都市部との交流も、美しい自然を壊さないように配慮しながら進めたいと思っています。

寺内 緑の多い心のふるさととして、企画によつては非常におもしろいものができるんじゃないでしょうか。

都市の過密化が進む中で、農村と都市にどのような結びつきを持たせるかを考えていかなければならないでしょう。

町長 昨年、第三次八郷町総合計画を策定いたしました。

「希望とやすらぎのまちやさとピア」の建設を基本方向とした町づくりを進めています。女性の目から見て、笹さんはどういった町づくりが良いと思われますか。

笹 そうですね。やはり都会の人たちが自然に帰れるまち、そしてさきほど寺内さんがおっしゃいましたが、心のふるさととして親しまれる町づくりをお願いします。

科学万博、重要な一年に

町長 八郷町も合併三十周年ということで、今年には記念すべき年ですが、茨城県においても科学博の開催の年として重要な一年となります。

寺内さんは、土浦市のご出身ということもあり、科学博でも活躍されており、忙しい一年になりそうですね。

寺内 とにかく成功させたいですね。また、この中には市町村の日があり、それぞれの市町村が、自分たちの町や村の特色を生かして、どのようなまとまりで出て来るか楽しみです。八郷町の日は、五月二十九日ということですが、私もできるだけお手伝いしたいと思っています。

町長 コンサートでお疲れのところありがとうございます。最後に、これからのお二人の健康とご活躍をお祈りいたしまして、本日の座談会を終らせていただきます。

8名を表彰



鈴木 球造さん
柿岡 (33歳)
プロイラー・養蚕

プロイラーを中心に、米作と養蚕を行っています。現在の農業は、機械化が進み、昔に比べると労働時間がずいぶん短縮されましたが、その反面機械の維持、生産物の価格低下など厳しい状態にあります。今後は、農家の耕地面積と労働力には限りがあるわけですから、現状を維持しながら、精神的、時間的にゆとりを持つて、農業に取り組んでいきたいと思っています。

第6回農業後継者表彰式が、1月17日、役場議場で行われ、優秀な後継者8名が表彰されました。

この表彰は、町の農業後継者の育成推進のため、町農政活動推進本部が、毎年行っているものです。



三輪 豊さん
鯨岡 (25歳)
果樹

現在の農業は、微妙な立場に置かれていると思います。政治的にも減反や農産物の輸入拡大など、農業の切り捨ての政策がとられており、どういう農業をしていくか農民自身が考えなければなりません。また、近代農業とよく言われますが、いろいろな面で間違っていることが多いように思います。私としては、化学肥料をなるべく使わず、有機肥料中心の農業を進めていきたいと思っています。



大塚 操さん
加生野 (22歳)
酪農

酪農に従事して三年目になります。現在、成牛、育成牛合わせで二十六頭ほど飼育していますが、三月に牛舎を新築し、四十頭に増やす予定です。学校を卒業してから、少しの間、北海道の牧場で実習を受けてきました。この辺の農業と規模から違いますが、勉強になりました。これからの目標としては、耕地面積酪農を目指して頑張りたいと思っています。



高野 智市郎さん
小見 (27歳)
葉たばこ・しいたけ

葉たばこ・しいたけの栽培を行っています。私は、もともと物を作るということが好きです。農業に限らず、仕事に対して一生懸命にやろうという自覚があれば、どんな職業に就いていても同じではないかと思っています。特に、農業には物を作り出すという喜びがあります。自分の時間が少ないという悩みもありますが、今後とも時代に適応した農業を進めていきたいと考えています。

農業後継者



菱沼宗一さん
月岡 (24歳)
施設園芸

きゅうりを主とした施設園芸と取り組んでいます。ハウス栽培をしていて一番怖いのが、病気と台風です。また、資材が高いため、へたをしないと採算が取れないこともあります。しかし、自分のやり方ひとつで収入を増やせる、やりがいのある仕事でもあると思います。今後、もっと勉強して、生産を上げていきたいと思っています。



永瀬明浩さん
宇治会 (23歳)
水稲・野菜

きゅうり、いんげん、アスパラガスなどの露地野菜を主に栽培しています。夏のきゅうりの収穫期などには、かなり忙しくなりませんが、収穫が始まり、出荷量が徐々に増えてくると、気持ちに張りが出てきます。現在の町の農業は、あまり特色がないと思います。「これだ」というような町の特産物が出ることを望みます。今後とも、いろいろな農作物に挑戦していきたいと思っています。

ここでは、表彰を受けた8名の方、今までのご苦労、喜び、これからの抱負など、また、現在農業に対して感じていることなどを、伺ってみました。



吉川 克さん
上林 (29歳)
果樹

なしの栽培を行っています。昨年、雨よけ栽培を取り入れました。この栽培方法は、病気の害も少なく、収穫が早くできるため、これから大いに期待されている栽培方法です。農業に従事して思うことは、せっかく丹精して満足のいく物を作っても、生産過剰等で値が暴落したりすると残念でなりません。自分の育てた作物には、自分でそれなりの値が付けられたらと思います。



萩原善一さん
山崎 (32歳)
養豚・野菜

養豚と野菜づくりを主としています。現在の農業を取り巻く状況には、減反等厳しいものがあります。しかし、農業は自らの努力しだいでは報われる職業でもあります。今後とも、優良後継者としての名に恥じぬよう、また、微力ながらも、八郷町の農業発展に貢献できればと思っています。

講座紹介シリーズ③

心身を鍛える太極拳

終生の楽しみに絵画講座

○太極拳講座

この講座は、今年で二年目を迎え、派手なところはありますが、静かなブームを呼んでいます。

ゆっくりとした動きが信条ですので、外見上バツと人目をひく華やかさはありません。しかしその動きが、ゆっくりであればあるほど、

ど、ごまかしができなく、正確にやらざるをえません。

このことが、筋肉を適度に動かす作用を行います。

この講座は、六月から翌年二月まで、毎月第一、第三木曜日の午後二時から行っています。受講生は十五名で、講師は土浦市在住の鈴木まさ先生です。

先日行われた「公民館まつり」に、喜多郎の音楽にあわせて、模範演技を披露するまで上達したことに、みなさん感激しております。

年齢、性別を問わず、特に



△ 太極拳講座



紙上講座

家庭教育⑧

「受験勉強」

今年もまた、受験競争、受験勉強の時期となりました。

一口に受験勉強といっても、学習は子どもの自主的、自発的な生活計画の中に正しく位置づけられ、習慣化されることが何よりも必要です。

受験期の子どもに受験勉強一本やりの生活を強制してもその効果はあまり望めません。むしろ、マイナスになることもあります。

受験期の子どもを抱え、追われるような毎日を送っているお母さん方の立場もわかりますが、いたずらに親が力みすぎたり、家族のものが神経質になりますと、子どもに必要以上の精神的負担を負わせることになり、逆効果を生む場合も少なくありません。むしろ、親は、子どもの生活や学習態度を温かく見守り励ますことに努めるべきであり、時には、相談に乗ったり、助言を与えたりすることが必要と思われます。

一指導 富田文治社教指導員一

○絵画講座

▽ 絵画講座



● 婦人、家庭教育研究発表会
日ごろ、学級、講座、サークルなどで学習している婦人の実践事例、また青少年の問題など、大人の側の学習事例を発表し、みんなで考える場です。ぜひお出かけください。

▽日時 三月二十四日(日)
午前九時

▽場所 中央公民館

● 浜尾実講演会

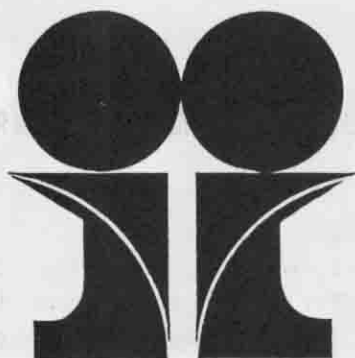
元東宮侍従として、皇太子殿下、浩宮様、礼宮様の御養育を務められた経験に基づき、「幸せな家庭と子どものしつけ」というテーマの講演です。

▽日時 三月二十四日(日)
午後一時三十分

▽場所 中央公民館

最初、鉛筆画から始まり、模写、水彩スケッチを経て、風景、人物写生に取り組んでおります。その間、野外写生に筑波山へ行き、きれいな空気を胸いっぱい吸って、好きな絵を思う存分キャンパスに描いたこともありました。

また「公民館まつり」では、見事な作品が展示され、来館者の目を楽しませました。



茨城県フラワー

パークに決定

オープンは6月2日から

科学万博開催の記念事業として、県が下青柳地内に建設中のフラワーパークの正式名称が、「茨城県フラワーパーク」に決まりました。

応募総数

一四〇〇通を超える

名称を決定するにあたって、広く県民の皆さんから募集したところ、一千四百三十五通もの応募がありました。その内「〇〇フラワーパーク」という呼び名が四百五十六通で最も多く、さらにその中でも「茨城県フラワーパーク」が一番で、次いで「八郷町フラワーパーク」「東筑波フラワーパーク」「エキスポフラワーパーク」などの順でした。選定は、中村町長を委員長とした「フラワーパークネーミング等選定委員会」を設置し、慎重に審議された結果、公共の施設ということや県外の人たちにも通用する意味で、「茨城県フラワーパーク」と決定されました。

シンボルマークは

「花」の文字を図案化

シンボルマークについては、応募総数三百二十八点の中から、石岡市の村田一夫さんの

作品に決まりました。

「花」という文字を図案化した作品で、左右を子どもに見立て「ふれあい」を表わし、斜めの白抜きは植物の「葉」を、中心部の白抜きの矢印の上昇は「発展」を表わしています。

なお、賞金は、次の方々に贈られました。

●正式名称の部（抽選）

▼優秀賞 五万円 菊地一夫（大塚） ▼佳作 一万円 以後崎久恵（石岡市）、石井里美（美野里町）、久家喜明（下林）、馬立昌之（水戸市）、宮城和夫（大増）

●シンボルマークの部

▼優秀賞 五万円 村田一夫（石岡市）、▼佳作 一万円 安達弘（川又）、佐藤敦・蘭部造 共同作品（水戸市）、鈴木徳松（小倉）、中島寿子（明野町）、高崎康隆（東京都）

●無料入園券（抽選五百名） 町内者二百二十八名、町外者二百七十二名

※開園は、バラの開花に合わせて、六月二日に決まりました。県内の花き農業の振興と新たな観光コースの一つとして、大きな期待が寄せられています。

八郷今昔②

写真下 昭和32年ごろの春季点検の様子。当時は、交通量も非常に少なく、役場前の路上で交通規制もせずに行われていたようです。



写真上 今年1月10日に行われた出初式でのパレード。（柿岡八坂神社前）



手作りのたこ揚げ大会

1月20日、総合運動公園で、町民たこ揚げ大会が開かれました。

当日は、暖かな一日となり風にも恵まれ、皆さん思い思いの手作りのたこを持参して、楽しいひとときを過ごしました。

なお、よく揚げた人や、よくできた人などに次の賞が贈られました。

▶最優秀賞 宮本清四郎（東成井） ▶デザイン賞 荒井隼人（柿岡） ▶大型賞 桜井彰子（柿岡）
▶優秀賞 菱沼義博（東成井）・大和田保守（柿岡）

このほか、佳作、努力賞などが8名の方々に贈られました。

自治宝くじの収益金で緑化整備

このほど、戸の内三区のコミュニティセンター周囲の緑化整備が、完了しました。

この事業は、自治宝くじの収益金によるコミュニティ助成事業の一つとして行われたもの。地域に住む人たちが、緑に対する関心を高め、潤いのある環境の中で、さらにコミュニティづくりを進めることを目的としています。

触れ合いのある住みよい地域づくりのために、現在、このような助成事業を行っています。詳しくお知りになりたい方は役場企画調整課（☎3-1111内線31）へお問い合わせください。



かぜの予防

最近、かぜが流行し、学級閉鎖等が行われているようです。外から帰ったら、必ずうがい、手洗いを實行

しましょう。それと、かぜの予防の決め手は、ふだんの食生活にあります。

かぜを予防するための食生活の基本は、どのような病気で共通することですが、ふだんから栄養のバランスを十分に考えた食生活をすることにあります。

六つの基礎食品を、バランスよく食べましょう。

もし、かぜをひいてしまったら、次のことを守りましょう。

（安静と保温）
まず、暖かくして寝るこ



と。特に、ひき始めに安静にすることが大切です。

（食事）

食欲がある場合は、普通の食事をとりませんが、発熱等で食欲が低下したときは、消化のよい温かいものをとりましょう。

また、水分も積極的にとるようにならねば。

○ひき始め

かぜのひき始めや、せきが出る程度の軽いかぜのときは、温かい食べ物や飲み物をとり、身体を暖かくして休むことによつて治ることは、よく経験することです。

ただし、インフルエンザなどにかかったときは、症状のまだ軽い早期から積極的に栄養を補給し、体力の消耗を防ぐようにすることが大切です。また、かぜの症状回復等に応じて、食事を三分がゆ、五分がゆ、全がゆ、常食と変えていきましよう。

昔から「かぜは万病のもと」といわれるように、油断すると大病にもつながります。「かぜぐらい」と軽く考えないで、「かかったかな？」と思つたら早目に治療を受け、十分な休養と栄養をとってください。



林保育所に幼年消防クラブ

このほど、林保育所に町初の幼年消防クラブが発足し、その結成式が昨年12月21日、同保育所で行われました。

この幼年消防クラブは、子どもたちに、小さいころから防火に対する意識を高めてもらうことを目的に発足したもので、同保育所の園児60名全員がクラブ員となりました。

式典では、日本防火協会（笹川良一会長）から贈られたそろいのハッピを園児たちが身に付け、園児代表が、「火遊びはしません。礼儀正しく素直な子になります」と、誓いのことばを述べました。

400名がめでたく成人式

「成人の日」の一月十五日、町でも四百名の若人が、めでたく成人式を迎えました。

町の式典は、同日午前九時三十分から中央公民館で開かれ、約三百二十名が出席、町長から、成人証書と記念品が贈られました。

また、式典に引き続き、成人者代表の皆さんによって計画演出されたアトラクションや、記念撮影などが行われました。



やまと文芸

短歌

吉田次郎選

思わずも受話器取る手に酔客のにひやなる声娘の背にきこゆ

上青柳 木崎 千代子

朝まだき落葉焚きする遠き家白き煙りの陽にたな引けり

中戸 吉田 とし

枯葉舞う夕べを帰る道々に孫の寝息が背に通い来る

金指 小松崎 嘉代

俳句

大図昇山選

初詣願ひこもごも人の波

真家 長谷川 雅 吾

蘭玉も形ばかりのものとなり

東成井 大和田 利

紅引いて心あらたや初鏡

柿岡 野山 貞子

俚謡

大木嶺月選

今日は楽しい老人会で語り合ったり唄ったり

根小屋 島田 順風

雨の初冬消し炭おこし昔ながらの堀り炬燵

東成井 東 鳴

願い叶って間借りにさらば今年しや新居に鏡餅

下林 加藤 山百合

善光寺楼門で防火訓練

私たちに残された大切な文化財を火災から守る訓練が、一月二十四日、大字太田地内にある国指定重要文化財の善光寺楼門で行われました。

訓練は、楼門わきの枯れ草

から出火という想定で行われ、通報を受けて駆けつけた消防八郷分署・地元消防団員が、見学の恋瀬小学校の児童の見守る中、本番ながらの放水を行いました。

また、八郷分署の職員による、消火器の取り扱いの実演などが行われました。



水戸南高校（通信制） の生徒募集案内

県立水戸南高校（通信制）は、向学の意志を持ちながら、いろいろな事情で毎日通学できない方のために、職場や家庭にしながら高等教育を受けられるよう設けられています。学習は、レポートの提出（添削返送されます）と、月二回の面接指導（日曜日または火曜日）によって進められます。四年以上在学し、所定の単位を修得すると、高等学校卒業資格が得られます。

業の資格が得られます。

▽応募資格 県内に居住または勤務している方で、中学校または、これに準ずる学校を卒業している方（昭和六十年三月卒業見込者を含む）

▽募集料および人員 普通科三百名

▽願書受付期間 昭和六十年三月五日（火）～四月四日（木）

▽願書請求先 茨城県立水戸南高等学校（通信制）、〒三〇一、水戸市白梅二一〇一

一〇。郵便で請求する場合は、郵便切手七十円をはった返信用封筒を同封してください。※詳しくは、水戸南高校（☎

〇二九二一四七一六一七三、四六七五）へ。

県民交通災害共済に 家族そろって加入を

県民交通災害共済の更新時期となりました。

この共済は、通常の民間の自動車保険等では保障されない、軽微な事故にも目撃者の証明で、見舞金（最低で二万円）が支給されます。

例えば、子どもが自転車であそんでいて転倒、医者に三日間通院。また、お年寄りが自動車等におおられて、側溝に落ちてけがをしたなど、身近な例がたくさんあります。

加入の方法は簡単です。役場住民課から、区（班）長さんを通して配付しました加入申込書に現金を添えて、もう一度、区（班）長さんに申し込んでください。

▽会費 大人六百円 中学生以下三百円

▽共済期間 四月一日（途中

2月の納税

固定資産税 第4期
国民健康保険税 第6期
国民年金 第4期

所得税の確定申告はお済みですか

所得税の確定申告と納税は、三月十五日までです。期限間近になりますと、窓口もたいへん混雑しますので申告は早めに済ませましょう。

加入の場合は申込日の翌日）

から翌年三月三十一日まで。

▽申込期限 三月中旬頃まで
※詳しくは、役場住民課（☎内線四〇・四一）へ

高齢者職業紹介所案内

石岡市社会福祉協議会では、高齢者無料職業紹介所を開設し、老人福祉の立場から、高齢者の生活の安定と心身の健康保持のため、職業の開拓とあつせんを行っております。

求人をお申し込みは、当所

所定の求人票により直接申し込んでください。（都合により電話・郵便でも受理します）

雇用条件などは、できるだけ詳しく、ありのまま記入してください。

求人をお求めるみなさんへ

会社・商店等の事務、雑役、店番、清掃、工場の軽作業、守衛、受付案内、包装、配達、子守、まかない、お手伝い等

八郷町の火災・救急出動件数 （昭和60年中）

		1月中	累計
火災	物野他計	1件	1件
	建林	2	2
	その他	3	3
	合計	6	6
救急	病通他計	16件	16件
	急交	11件	11
	その他	7件	7
	合計	34件	34件

※詳しくは、〒三一五 石岡市大字石岡三二六五―二、石岡市役所内、石岡市高齢者無料職業紹介所（☎〇二九九二―三〇七七七七）へ。

△受付日時
○月曜日～金曜日 午前九時から十一時
○土曜日 午前九時から十一時
○休日 日曜・祝日・年末年始

の補助的作業があります。気に入った仕事がない場合でも、何回でもご相談においでください。

申し込みは、直接本人が当所へおいでください。

わが家のついでに



大枝 正和ちゃん（柿岡）

父 正男さん 母 啓子さん
昭和58年5月23日生まれ（長男）
家族からの一言 「優しい顔をしていて女の子みたいね」と、よく言われますが、なかなかいたずらな暴れん坊です。でも家族の願いは、「わんぱくでもいい、たくましく育ってほしい」の一言です。正義感のある人間に育てたいと思います。